

## 第4章 計画の構成

---

第1節 全体の構成

第2節 施策の体系

## 第1節

## 全体の構成

本計画は、現況や課題を整理した上で、目指すべき環境都市の姿を浮かび上がらせ、これを達成するための施策を設定し、今後の本計画推進の仕組みを構築する流れで構成しています。

**第1章 第3次宇都宮市環境基本計画策定にあたって**

計画の背景や目的、基本的事項（役割・位置づけ、期間、範囲、特色）

**第2章 環境行政と宇都宮市を取り巻く現状と課題**

社会の潮流や宇都宮市における状況・課題

**第3章 宇都宮市が目指す環境都市**

計画の基本理念、目指す環境都市の姿

**第4章 計画の構成**

計画全体の構成、施策の体系

**第5章 重点戦略**

重点戦略の考え方、具体的な内容

**第6章 分野別の基本施策**

地球環境、廃棄物、自然環境、生活環境、人づくりにおける基本施策

**第7章 計画の推進に向けて**

計画の推進体制の整備や評価方法

第2節

施策の体系

施策の体系は、計画の基本理念に基づく“環境都市の姿”を達成するため、「重点戦略」及び「分野別施策」を設定し、着実に推進していきます。

計画の基本理念

みんなで築き 未来へつなげよう 環境都市 うつのみや

目指す“環境都市”の姿【今世紀中ごろ(2050年頃)の姿】

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>市民の暮らしの視点<br/>(ひと)</p> <p>・みんなが“「もったいない」のこころ”を持って、自然の恵みとエコで便利なライフスタイルを満喫しながら、健康で快適に暮らせるまち</p> | <p>まちの空間の視点<br/>(まち)</p> <p>・水と緑があふれる空間の中に、様々な機能をもった拠点が形成され、誰もが目的にあわせて自由に活動、移動できる利便性の高いコンパクトなまち</p> | <p>暮らしや空間を支える<br/>仕組みの視点<br/>(しくみ)</p> <p>・みんなが“「もったいない」のこころ”で自然・文化・人・モノを大切に上手に活用する、環境にやさしい循環の仕組みが、エコな暮らしや経済活動を支えているまち</p> |
|--|---|--|

“環境都市の姿”の実現に向けた分野横断的施策の展開

|      |     |  |
|------|-----|--|
| 重点戦略 | ひと  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もったいない」の精神で行動する人づくり</li> <li>・エコで便利なライフスタイルを生み出す行動促進</li> </ul>     |
|      | まち  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と調和したコンパクトな地域づくり</li> <li>・グリーンな交通システム</li> </ul>                  |
|      | しくみ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と経済の連携による地域の環境資源を活かした産業や取組の創出</li> <li>・社会全体を先導する市の率先行動</li> </ul> |

環境施策の展開

|       |      |     |      |      |      |
|-------|------|-----|------|------|------|
| 分野別施策 | 1    | 2   | 3    | 4    | 5    |
|       | 地球環境 | 廃棄物 | 自然環境 | 生活環境 | 人づくり |

## 本市が目指すグリーンな公共交通ネットワーク

### 1) どんなもの？

宇都宮市では、LRTをはじめとした公共交通機関や次世代自動車、自転車の利用など、環境にやさしいグリーン交通システムによる公共交通ネットワークの構築を目指しています。

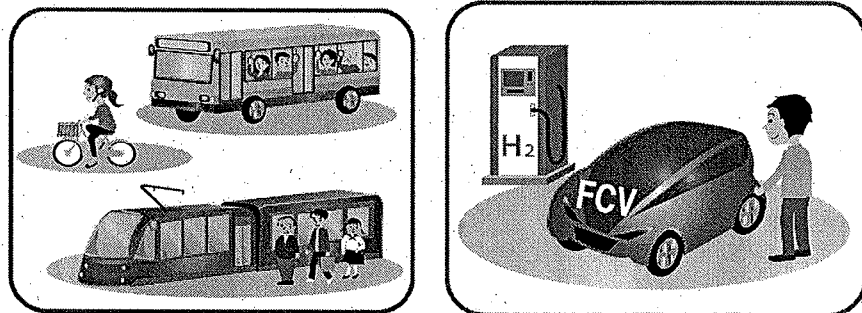
LRTとは、低床式車両の導入や軌道・電停の改良により、乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などを高めた次世代型の路面電車システムのことで、現在、JR宇都宮駅から芳賀町にある工業団地までの区間を結ぶ整備計画が進行中です。

次世代自動車とは、ハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車などの環境にやさしい自動車のことです。宇都宮市は自家用車の保有率が全国平均と比べても高い状況であり、自動車から排出される温室効果ガスや大気汚染物質などへの対応が課題となっていますが、こうした次世代自動車は乗り換えるだけで、走行時にCO<sub>2</sub>や大気汚染物質の排出を少なくできる効果があります。さらに、電気自動車や燃料電池自動車は、住宅に電気を供給する機能も有することから、災害時などに非常用電源として活用できます。

また、本市では、自転車の利用も推進しています。自転車はCO<sub>2</sub>や大気汚染物質を全く排出しない、究極のエコな乗り物といえます。また、日ごろから自転車を利用することで健康増進にもつながります。

### 2) 市はどうなるの？

本市では、こうした環境にやさしい乗り物を上手に組み合わせ、つなぎ合わせる（ネットワーク化）ことで、子どもからお年寄りまで誰もが快適に安心して移動できるように、環境もやさしい交通未来都市を目指しています。



グリーン交通システムの利用場面の例